

2022年度 前学期
文部科学省 職業実践力育成プログラム(BP)認定
「保育・子育て支援ラーニングプログラム」 シラバス
(お茶大 ECCELL 社会人プログラム)

【前学期】

基礎科目：子育て支援フィールドワーク

シラバスに関する問い合わせ先 ECCELL 事務局 nyuyoji-reply@cc.ocha.ac.jp

子育て支援フィールドワーク

日程： 9月25日(日) 9:30～16:30

文京区立お茶の水女子大学こども園園舎内外にて対面で行います。

※2020年度後学期以降にBP登録し、履修証明書取得を考えている方は、受講により6時間です。

担当：宮里 暁美(本学 寄附講座教授)

浜口 順子(本学教授・文京区立お茶の水女子大学こども園園長)

主題と目標

「つくる」を軸に、講師の先生方をお招きし、ワークショップを通して体験を共有する。講師の先生方から話を聞いた後、「子育て支援」について語り合い、「子育て支援」に関するPRポスター制作を行う。(お茶大こども園にて)

教科書・参考図書

参考図書は適宜紹介する。また、必要に応じてレジュメや資料を配付する。

評価方法・評価割合

授業への参加態度=60%、課題=40%

授業計画

<午前の部>

9:30-10:00 はじめの集まり(こども園2階)

10:00-12:00 <ワークショップ>

宿舎前 (1) 薪割りや七輪など(杉浦先生)

こども園2階 (2) 手ぼうき作り(宮里耕太先生)

(3) 素材に触れて遊ぶ・表す・現れる(西尾先生)

12:00-12:30 <体験の共有>

<午後の部>

13:30-14:30 「体験」を提案した講師から話を聞く 聞き手：宮里

14:30-15:50 参加者が語り合いポスターを作る 進行：宮里

15:50-16:20 ポスターを見て語り合う

16:20-16:30 まとめのお話(宮里)

時間外学習

受講者の皆さんの地域における子育て支援の取り組みについての情報を収集する。

学生へのメッセージ

対面開催です。午前の部では、3種類のワークショップに自由にご参加いただきます。全プログラムを通して、対面ならではの交流や豊かな体験を楽しんでいただけたらと思います。

(別途ご案内します本学感染症対策につきまして、ご協力をお願いいたします。)